

平成29年度職員採用試験よりSPI3（総合能力試験）を導入します！

1 概要

都城市では、平成29年度から職員採用試験に多くの民間企業が導入しているSPI3試験を導入します。これにより、従来のいわゆる「公務員試験対策」が不要となり、受験しやすくなります。幅広い分野からより多く受験してもらうことで、優れた人材の確保が期待できます。

また、受験者は、設定された期間内であれば、全国に設置されている試験会場（テストセンター）の中から都合のよい会場・日時を選択することができ、受験者にとっては利便性が格段に向上します。

なお、SPI3試験のテストセンター方式※1を導入するのは、県内初となります。

※1 テストセンター方式・・・(株)リクルートキャリアが運営する専用受検会場（全国47都道府県のSPIテストセンターの中から、受験者が選択）で受験する方法

『SPI3』とは

- ・(株)リクルートキャリアが提供している適性検査
2015年度実績－利用社数11,100社、受験者181万人
- ・個人の基本的な資質を「基礎能力検査」と「性格検査」から測定
- ・仕事を行う上での正確性や迅速性を測ることに重点を置いた現場能力重視型の検査
- ・大学新卒採用ピーク時（4月～6月）には、全国47都道府県のテストセンターで受験可能

2 詳細

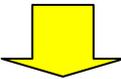
○採用試験を実施する全ての職種においてSPI3試験を実施します。また、一般大卒程度の専門試験は、廃止します。※技術職（土木・建築・電気等）については、専門試験あり

○大卒程度及び社会人卒の1次試験を5月上旬から6月中旬に行います。

○高卒程度等の1次試験は、従来の日程で実施予定です。

（9月実施～市内会場・SPI3によるペーパーテスト）

【一般大卒程度の場合における1次試験の変更点】

	H28年度までの採用試験	H29年度の採用試験（SPI3）
実施時期	指定する期日	指定する期間のうち、受験者が選択する日時（H29は、5月上旬～6月中旬を予定）
試験会場	市内1会場	全国47都道府県のSPIテストセンターの中から、受験者が選択する会場
試験内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般教養試験 人文・社会・自然分野に関するものと文章・判断推理、数的推理 ・専門試験 政治・法律・行政学・経済等の社会科学分野 	<ul style="list-style-type: none"> ・SPI3（総合能力試験） 能力検査及び性格検査  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">特別な公務員試験対策の必要なし</div>

参考：受験者からみた SPI3 受験までの流れ (テストセンター方式)

①受験申込

5月上旬～下旬
持参又は郵送

②受験票交付

③受験依頼メール受信

採用者側からのメールを受信

④受験仮予約

受験依頼メール受信後、メール内容に従い、都合のよい日時・会場を選択し、能力検査受験を仮予約

※全国47都道府県にある会場のどこでも予約可能

⑤各自WEB上で性格検査受験

受験仮予約後に、自宅のパソコンやスマートフォンを利用して、WEB上で性格検査を受験

※性格検査が完了した時点で、会場の予約が確定

⑥各自テストセンター会場にて能力検査受験

性格検査の受験完了後に、予約した日時・会場で能力検査を受験

⇒1次試験終了

過去の受験者数の推移

職種	年度	平成26年度(2014)							平成27年度(2015)							平成28年度(2016)												
		採用予定者	応募者	受験者	一次合格者	二次辞退者	二次受験者	合格者	採用者	競争率	採用予定者	応募者	受験者	一次合格者	二次辞退者	二次受験者	合格者	採用者	競争率	採用予定者	応募者	受験者	一次合格者	二次辞退者	二次受験者	合格者	採用者	競争率
一般行政職(大卒程度)		3名程度	151(52)	98(34)	15(2)	5(1)	10(1)	6(1)	4(1)	24.5倍	15名程度	132(51)	92(31)	42(9)	7(1)	35(8)	17(6)	17(6)	5.4倍	21名程度	212(76)	150(58)	51(16)	6(2)	45(14)	25(13)	25(13)	6.0倍
一般行政職(高卒程度)		1名程度	66(34)	57(28)	6(3)	0(0)	6(3)	5(3)	3(1)	19.0倍	5名程度	98(47)	90(44)	16(7)	1(0)	15(7)	4(2)	4(2)	22.5倍	8名程度	153(70)	135(59)	23(7)	2(7)	21(7)	5(2)	4(1)	33.8倍
土木		1名程度	13(1)	9(0)	7(0)	0(0)	7(0)	4(0)	4(0)	2.3倍	5名程度	20(4)	16(2)	9(1)	1(0)	8(1)	3(1)	3(1)	5.3倍	4名程度	31(2)	26(2)	10(3)	6(0)	4(0)	3(0)	3(0)	8.7倍
建築											2名程度	6(2)	4(1)	2(1)	0(0)	2(1)	1(1)	1(1)	4.0倍	1名程度	7(1)	6(0)	3(0)	0(0)	3(2)	2(2)	3.0倍	
保育士		2名程度	22(20)	18(16)	9(8)	0(0)	9(8)	4(4)	4(4)	4.5倍	3名程度	26(23)	26(23)	8(6)	0(0)	8(6)	3(3)	3(3)	8.7倍	4名程度	16(15)	15(14)	8(7)	1(1)	7(6)	6(5)	6(5)	2.5倍
保健師		1名程度	25(23)	17(15)	4(3)	0(0)	4(3)	4(3)	3(2)	5.7倍	1名程度	13(12)	8(8)	4(4)	0(0)	4(4)	2(2)	2(2)	4.0倍	1名程度	8(7)	5(4)	4(3)	0(0)	4(3)	2(1)	2(1)	2.5倍
電気		1名程度	10(0)	9(0)	3(0)	0(0)	3(0)	1(0)	1(0)	9.0倍	1名程度	18(1)	14(1)	3(0)	0(0)	3(0)	1(0)	1(0)	14.0倍	1名程度	8(0)	6(0)	3(0)	0(0)	3(0)	1(0)	1(0)	6.0倍
一般行政職(文化財)											1名程度	3(1)	3(1)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	3.0倍	1名程度	4(0)	4(0)	4(0)	0(0)	4(0)	1(0)	1(0)	4.0倍	
身体障がい者対象											1名程度	3(0)	3(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	3.0倍	1名程度	4(1)	4(1)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)		
技術員		1名程度	17(0)	15(0)	3(0)	0(0)	3(0)	1(0)	1(0)	15.0倍	1名程度	8(0)	8(0)	3(0)	0(0)	3(0)	1(0)	1(0)	8.0倍	1名程度	7(1)	6(1)	3(0)	0(0)	3(0)	1(0)	1(0)	6.0倍
消防吏員(大卒程度)		2名程度	31(1)	27(1)	9(0)	2(0)	7(0)	4(0)	4(0)	6.8倍	3名程度	27(1)	21(1)	9(0)	1(0)	8(0)	3(0)	3(0)	7.0倍	3名程度	28(1)	25(1)	12(1)	0(0)	12(1)	3(1)	3(1)	8.3倍
消防吏員(高卒程度)		1名程度	48(1)	39(0)	3(0)	0(0)	3(0)	1(0)	1(0)	39.0倍	2名程度	50(2)	42(2)	8(0)	1(0)	7(0)	3(0)	3(0)	14.0倍	3名程度	72(9)	65(9)	9(0)	3(0)	6(0)	3(0)	3(0)	21.7倍
合計		13名程度	383(132)	289(94)	59(16)	7(1)	52(15)	30(11)	25(8)	11.6倍	40名程度	404(144)	327(114)	106(28)	11(1)	95(27)	40(15)	40(15)	8.2倍	49名程度	550(183)	447(149)	131(37)	18(3)	113(31)	52(22)	51(21)	8.8倍

※平成28年度については、社会人枠の採用(8名)を除く。